



たかむく 2024

明章小学校
学校だより6号
令和6年6月28日

「主体的に学ぶ」について

今年度の学校教育目標は「主体的に学び、協働する子の育成」です。

学校での教育活動は、国が定めた「学習指導要領」に基づいて行われます。この学習指導要領で求められているのが、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の3つです。どれもこれまで取り組んできたことですが、今年度より「主体的な学び」について、力を入れて取り組んでいきたいと考えています。



なぜ、今年度から力を入れるのかと思われるでしょう。それは、本校の児童が素直すぎることに関係しています。これからの時代は、自分の考えをしっかりと持ち、自分で判断して生きていくことが必要です。先生に言われることに何の疑問をもたずに、言われたとおりに行動するだけではいけないのです。変化のスピードが速い社会では、変化に対応するために誰かに指示されてから動くのではなく、自ら動くことも必要です。また、多様な生き方の中から、自分に合った生き方を自分で選ぶ必要もあります。そして、なによりも「あれをきなさい」、「こうした方がよい」とあれこれ、指示され、こなす生き方がいいとは思えません。自分の人生ですから、条件、制限、期待、役割等を考えながら、自分が考える生き方を大事にして強く正しく生きることが大切ではないでしょうか。ですから、「主体的に学ぶ子の育成」にしっかり取り組んでいきたいと思えます。

「主体的に学ぶ」授業では、すべての時間ではありませんが、子どもたちの興味関心をもとに学習課題を設定します。子どもたちがどう考えるのか、どう受け止めるのかを予想しながら質問し、授業を進めていけるように取り組みます。子どもたちには、先生からの問いかけに対して自分の考えを言えるようにがんばってほしいと思います。そして、誰かの考えを聞いたなら、それに対する質問やもっと詳しい説明を求めるなどの反応ができるようになってほしいと思います。

子どもたちが主体的に学べるようになると、家庭での学習課題も変わります。ドリルやプリントなどを使って漢字や計算の練習をするだけでなく、次の日の授業に備えて教科書を読んだりインターネットを使って調べたりすることが増えます。やらされる宿題からやりたい宿題に変わります。

授業参観や学校行事での子どもたちの姿、学校だよりやブログなどの情報発信を通じて、学校の取り組みや子どもたちの学びの様子についてについて、地域・保護者の皆様にご理解いただけるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。